

# でん粉原料用サツマイモの新品種「こないしん」の特性

「こないしん」は、「シロユタカ」に比べて多収で、つる割病抵抗性が強く、でん粉重が重く、でん粉白度も高い

## 背景・目的

- ・サツマイモは本県畑作の基幹作物であるが、その生産は高齢化や労力不足により減少傾向
- ・でん粉用主要品種の「シロユタカ」は、5月植えでつる割病の発生が多く、気象要因の影響も含めて、生産が不安定
- ・でん粉原料用の生産量を安定確保するために、多収で病害に強く、でん粉歩留りの高い品種の選定が必要

## 成果の内容



こんないしん  
地下部

品種・系統名	いもの形状	皮色	肉色
こんないしん	短紡錘	茶橙	淡黄白
シロユタカ	短紡錘~紡錘	白(帯紅)	白
ダイチノユメ	紡錘~長紡錘	白	淡黄白

### 【特性】

- ・上いも収量：「シロユタカ」より多い
- ・つる割病抵抗性：「シロユタカ」より強い
- ・種いもの貯蔵性が良い(腐れにくい)
- ・萌芽性：「コガネセンガン」並
- ・しょ梗がやや強く、いもが離れにくい
- ・でん粉：歩留は「シロユタカ」並で、でん粉重は重い
- ・でん粉白度：「シロユタカ」よりやや高い

### 病害虫抵抗性

品種・系統名	つる割病	ネコブセンチュウ		黒斑病
		ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	
こんないしん	やや強	強	やや強	中~やや弱
シロユタカ	(やや弱)	強	強	強
ダイチノユメ	—	強	中	やや弱
コガネセンガン	(やや弱)	やや弱	やや弱	弱

注1) つる割病、センチュウ抵抗性：育成地情報  
2) 黒斑病抵抗性：長崎農林技術開発センター調査

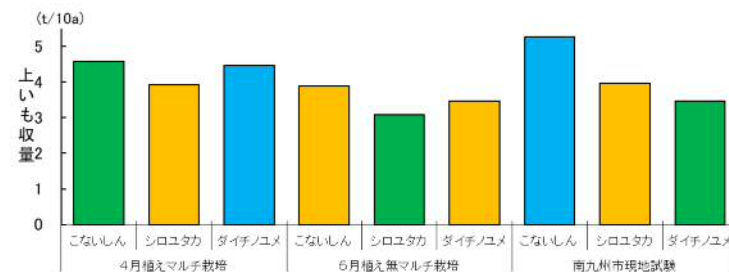
### 生態的特性

貯蔵性 (種いも)	萌芽性 (種いも)	しょ梗の 強さ
易	中	やや強
やや易	やや良	弱
やや易	中	やや弱
やや易	中	中

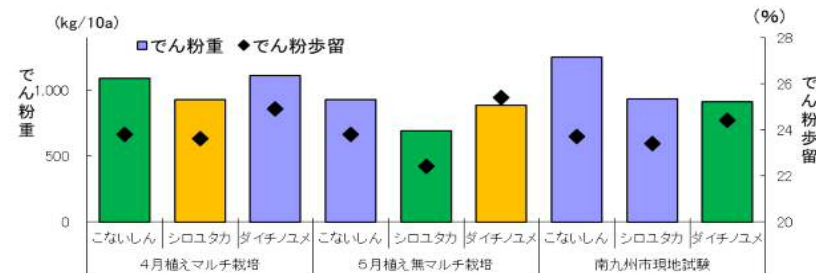
注1) 貯蔵性：育成地情報  
2) 萌芽性、しょ梗の強さ：大隅支場調査

導入メリット

### ○ 収量は「シロユタカ」に比べ約2~3割アップ



### ○ でん粉重も「シロユタカ」に比べ約2~3割アップ



- ・生産が安定し、収量やでん粉重が確保される
- ・生産者やでん粉業者の経営が安定

### 普及対象・範囲

本土、熊本地域のでん粉原料用サツマイモの生産者

品種の育成地：農研機構 九州沖縄農業研究センター

(品種選定に関する試験、イノベーション創出強化研究推進事業)

## 期待される効果

でん粉原料用サツマイモの生産性向上とでん粉業者の経営安定

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場